



ほほえみだより

笑顔いっぱい 生き生き
今日も来てよかった治田東の子ども

栗東市立治田東小学校

第8号

令和5年10月30日

「成長する」ために

先日は、個別懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。お持ち帰りいただいた「あゆみ」を通して、ご家庭でのお子さんとの会話はいかがでしたか。当然ながら、がんばりが結果に表れることもあれば、残念ながら報われないこともあるかと思えます。そうした前期のお子さんのがんばりや惜しいところなど、保護者さんと担任が共有して、今後の成長を支える話し合いになっていたらうれしく思います。結果はもちろんのこと、取り組んだ過程や努力を引き続き支えていきたいと思えます。

さて、10月23日の後期始業式では、3年ぶりに体育館に全学年の子どもたちが集まりました。思い返すと、コロナ禍の中で入学した現在の4年生以下の子どもたちは、全学年で体育館に集まる機会はありませんでした。めったに顔を合わすことのない人たちと一緒に儀式的行事に参加することは、普段にはない息苦しさや緊張を伴います。その中で、正しい姿勢で座ること、静かに話を聞くことなど、「式」で求められるふるまいを、子どもたちは上学年の子どもたちの姿を通して学びます。そうした「緊張」と「静粛」を体感する「式」を「節目」として、子どもたちは大人への階段を一步一步、歩いていくのだと思えます。



今回の式では後期のスタートに向けて、以下のような話をしました。

後期に学校に通うのは「95日」。6年生は、その2日前に卒業式があるので、「93日」です。前期より短い期間です。今年の4月にできなかったことが今では当たり前ができるように、後期には、またできることが増えていきます。そこでお願いがあります。

○これまでやればよいことがわかっているのに「やっぴこなかつたこと」をやってみませんか。

○これまでいけないとわかっているのに「やめられなかつたこと」をやめてみませんか。

○これまで続けられないといけなかつたことわかっているのに、「つづけてこなかつたこと」を続けてみませんか。

一つ上の学年へ「成長すること」を目指してチャレンジしてみてください！あと95日、6年生は、93日あれば皆さんは、できます！そして友だちとお互いに、応援し合ひましょ。困った時には、先生たちがいます。家族がいます。成長する皆さんを応援しています。後期の一日一日を大切に過ごしてください。

今回の始業式を機に、すべての子どもたちが、気持ちを新たに、次の学年への準備期間として後期を前向きに過ごせることを願っています。お子さんの「成長」には、私たち大人のチームワークが大事であると考えています。後期もどうぞよろしくお願ひいたします。



わかばっこの
つぶやき



後期始業式では、各学年の代表者が前期の振り返りと後期にがんばりたいことを話してくれました。「漢字や計算をがんばる」「そうじをがんばる」「書道家をめざして漢字をがんばる」「クラスのみんなで楽しめるように」「よつば委員として笑顔いっぱい学校に」「提出物を早く出す」など、自分を見つめて次のめあてを考えることができていました。緊張する中、はっきり話したり紙を見ないで発表したりして、その力に感心しました。

※子どもたちの学校生活の様子からつぶやきます。